



公益社団法人 岐阜県交響楽団

〒501-3133 岐阜市芥見南山3丁目7の10
TEL<058>244-0150 FAX 244-0151
ホームページ http://gikyo.ktroad.jp/

私が代表取締役を務めるセイノールホールディングス株式会社には、カンガルーメセナ協議会という芸術文化支援団体があり、芸術・文化事業等の開催、優れた芸術、文化活動への助成と顕彰、公演・展覧会等への無料招待などの事業を行っていま...



「音楽の持つ力」
公益社団法人岐阜県交響楽団
副理事長 田口 隆男

になりました。コンサートの中止やオンラインでの実施という意見もある中で、可能な限り生の音楽を聴いていただきたいの思いから開催を決め、会場の密を避けるために昼夜2回公演にして収容人員を分散するなど...

たのです。演奏者である石丸さん自らパイプオルガンについて語ってくださり、手入れがとても大変であること、サラマンカホルールのパイプオルガンがとても素晴らしいものであることを...

サイノールお届けする予定です。ウィズコロナの時代においても音楽の発展を願ってやみません。カンガルーメセナは今後も芸術のさらなる振興に努め、地域に貢献いたします。
さて、皆様にご支えていただき今年で創立68年目を迎えた公益社団法人岐阜県交響楽団は、2023年の70周年に向けた記念事業として『岐響ナナゼロプロジェクト』を立ち上げました。このプロジェクトでは、1. 音楽の技術の向上 2. 地域社会への貢献 3. 岐阜県の芸術文化のシンボリック存在となること...

代表取締役 株式会社 セイノールホールディングス 田口 隆男

今年度行われた2つの演奏会から

ご来場の皆様から多くのコメントをいただきました。その一部をご紹介します。

第95回定期演奏会 アンケートより (2021/6/20不二羽島文化センター)

岐響のコンサートは初めてですが、とても良かったと思います。コロナ禍の時期でなかなか生の演奏が聴けないですが、公演できてとても良かったです。指揮者の指揮姿がカッコ良かったです。(御嵩町、50代、男性)



本日はありがとうございました。久しぶりに生の演奏を聞くことができました。(各務原市、50代)

初めて演奏会に伺いました。オーケストラ等のコンサートは初めてで、音色がどうかはよくわかりませんが、とても耳が幸せでした。ホールに響きわたる音の心地良さや迫力、とてもすてきで、別世界に来たようでした。現実に戻るのがこわいですが、また日々の生活をがんばれそうです。(羽島市、40代、女性)

皆さまの演奏される姿を「コロナ禍」でも平常心を失わず、まっすぐなお気持ちで音楽活動に向かい合っておられる姿がとても「美しい」と感じました。これからも素晴らしい演奏活動を心から応援します。(大垣市、60代、女性)

いいねー、いい！よかったです。(岐阜市、70代、男性)

～川柳から～

- コロナ禍や 金管楽器も マスクして (岐阜市、60代、女性)
●初参加 演奏聴くや 心湧き 次も必ず 来るぞと思う (関市、60代、男性)

令和3年度実演芸術アウトリーチ事業アンケートより

(2021/7/11 土岐市立 妻木小学校)



▲ステージでもマスク着用、子どもたちも一緒にソーシャルディスタンス

～子どもたちのこえ～

- シンバルのバーンが良かったよ。
●校歌のオーケストラバージョンがいつもの校歌と全然違ってとてもすごいと思いました。とくにシンバルや太鼓がとってもすごかったです。
●生で聞いていて低い音や高い音をはっきりと聞こえていてすごくリズムよくやって自分も楽しくなって面白かったです。
●ぼくは歌が好きだけど生で聞くことはめったにないのでとてもいい体験でした。聞くだけでなく、手話・ミッションなどで楽しさがましました。ありがとうございました。

～先生の声～

- 子ども達が歌えない中、様々な形で参加方法を考え実施して頂き素晴らしい会になりました。
●言葉で表現できなくなった時、音楽が始まる。ドビュッシーのこの言葉を思い出しました。勇気、元気、励まし、喜び...いろんなメッセージを頂きました。ありがとうございました。

岐響 公式SNS紹介

演奏会のお知らせをはじめ、練習風景や団員の活動の様子、創立70周年を目前に発足した「ナナゼロプロジェクト」の活動内容、演奏会だけでは見えない裏側の様子など、随時更新中！ぜひご覧ください！コンサートの感想など #岐響 でぜひ投稿してください！



たくさんのフォロー、お待ちしております！

# 岐阜県交響楽団創立70周年に向けて

いよいよナナゼロプロジェクトが始動します！

3つの目標を柱としたナナゼロプロジェクト。目標別に3つのチームを作りました。

本日は各チームよりプロジェクト内容について詳しくお話しします。

## ■音楽技術の向上チーム

今岡 桂

随分と昔の話ですが、筆者が入団した頃の岐響は、閉鎖したボーリング場を借りて練習をしていました。岐阜市の水道山に遊園地があり、その途中の坂道にあった「岐阜ボウル」を懐かしむ方もいらつしやると思います。レーンの上で演奏していたのは、今考えると不思議ですね。しかし現在の岐響には、全国的にも希で、プロオーケストラでさえ持つ事が難しい、立派な専用練習場があります。

「この練習場は団員が心地よく、趣味を満足させるためにできたものではない。各自の音楽技術を向上させ、聴衆に感動を与えるオーケストラとなること。」

練習場が完成した際の岡本理事長のメッセージです。

ここで言う「音楽技術の向上」は、個々が上手になるために練習する事とは少し違う気がします。団員が音楽を心から楽しみながら情熱を持って演奏し、お客さまに感動をお届けする！そのために、私達は真摯に練習に励まねばなりません。ナナゼロプロジェクトは次の取り組みを実践していきます。

### 【練習の質向上と確実な技術向上】

団員は専門的な訓練を受けている人ばかりではありません。そこで第一線で活躍しているプロの演奏家やトレーナーに定期的且つ継続してパートやセクションレッスンを受けることにより、技術の底上げをしていきます。これにより団員の更なるレベルアップ、団全体のモチベーションアップを図ります。

### 【団員自身による自発的な技術向上】

受け身ではなく、向上心を持って自発的に行動する事が重要です。何十人という大勢の中で意識が薄れてしまいがちですが、あえて小規模のアンサンブルチームに振り分けて練習する事で、責任感を持ち、お互いにコミュニケーションを取りながら、活き活きとした音楽を目指します。



▲指揮台に向かって掲示された「テーマ」

また、演奏会ごとにテーマ(目標)を決め、団員全員が共通の意識を持って取り組んでいます。今回のテーマは「フレージングを意識した積極的なアンサンブルと、バランスの取れた演奏」

本日はその成果を客席に届けられるよう、気持ちを込めて演奏します。



▲旧練習場(元ボーリング場)1996年

## ■地域社会への貢献チーム

杉山 浩一

岐阜県交響楽団は公益社団法人として、「演奏活動等を通じて岐阜県の芸術文化の普及と向上発展に寄与すること」を目的に活動していますが、その存在を知っていただけの活動の場所が限られているのが現状です。そこで、コンサート会場でお客さんを待っているだけではなく、岐響の方から街に飛び出し、気軽に音楽に触れる機会を積極的に作り、様々な年齢層の方々に音楽の楽しさや素晴らしさを伝えていくとともに、岐響について知っていただく機会を増やしていきたいと考えています。

具体的には、より地域に愛されるオーケストラを目指して、コンサート

会場まで足を運ぶことが難しい方々にも、身近に生のクラシック音楽に親しんでいただくことを目的とした『岐響まちかどコンサート』及び『こんにちは岐響コンサート』を新たに開催したいと考えています。

まず、『岐響まちかどコンサート』では、各種施設・広場・イベント会場など、県内の様々な場所で、アンサンブルなどの小編成での気軽なコンサートを開催したいと思います。第1回目として、令和3年11月3日(水/文化の日)に、岐阜市役所・メディアコスモス前の広場で開催しました。屋外ということもあり、金管五重奏(トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバ)でのコンサートとなりましたが、クラシックの有名曲、秋にちなんだ曲など、秋空のもと金管楽器の輝かしいサウンドをお楽しみいただけたと思います。今後は弦楽四重奏、木管五重奏などの編成でも開催したいですが、演奏依頼などありましたら、事務局までご連絡ください。

次に、『こんにちは！岐響コンサート』では、県内の自治体等に趣旨を説明して公募し、オーケストラ編成によるコンサートを県内各所で開催することを予定しています。

これらの活動に加えて、地域の青少年育成のための事業も行っていきたい



と考えています。これまでも、岐響ジュニアオーケストラの育成や、学校向け実演芸術アウトリーチ事業など、地域の青少年育成に取り組んできましたが、これまでの活動に加えて、楽器を演奏しているがオーケストラに馴染みのない青少年に対して、一緒に演奏する機会を作り、オーケストラの楽しさや素晴らしさを伝えるなど、更なる地域の青少年育成と、将来の岐響団員への間口を広げる活動を進めていく予定です。

## ■芸術文化シンボルチーム

(岐阜県の芸術文化のシンボリック存在となるために)

大澤 和芳

岐響が音楽技術を向上させ、地域社会に貢献することで、岐響が「岐阜県の芸術文化のシンボリック存在となる」ことが、70周年を機に我々のありたい姿だと思っています。そこで、その機運を盛り上げていく、また岐響を一層PRしていくために、「PR作戦」と名付けた幾つかの仕掛けを考えています。

一つ目は、岐響紹介リーフレットの製作です。これまで定期演奏会、ファミリーコンサートでは「ひびき」を刊行し、岐響について知っていただくようにしてきました。70周年に向けては、岐響紹介リーフレットを制作し、「岐響まちかどコンサート」や「こんにちは岐響コンサート」を始めとする機会に配布することで、ふだん演奏会にお越しになられない方々にも広く岐響のことを知っていただくようにしていきます。

二つ目は、70周年までの各種事業に用いるシンボルマークの公募です。一般の方からの公募によりシンボルマークを決定し、岐響紹介リーフレットを始め定期演奏会のチラシやパンフレットに掲載することで、70周年に向けての活動を統一したものとして気運を盛

り上げていきます。公募の要項と申込用紙は岐響HPに掲載されており、ご家族やお知り合いにもお声掛けいただき、ぜひご応募ください。

三つ目は、各種SNSを通じた岐響のPRです。現在岐響ではFacebookとTwitter、InstagramよりPRを行っており、最近では普段の練習についての発信を増やしているところです。今後はYouTube(動画)も活用して練習の様子を発信するなど、岐響をより身近に感じていただけるようにしていきます。

これらPRを通じて岐響ファンを増やすことはもちろん、新入団員の募集にも効果があることを期待しています。岐響はアマチュアオーケストラのなかでは大所帯の方だと思えますが、なかにはお辞めになる方もいるため、常に新しい団員を迎えることが活動の元になります。PRを通じて新しい仲間と出会い、一緒に70周年以降を盛り上げていくことができれば嬉しく思います。

# やっぱり私たちは チェロが好き!

## チェロ編



みなさま、本日は岐響コンサートにご来場ありがとうございます。  
ステージ右の前の方をごらんください。左のバイオリンに比べて、かなり大きい楽器、それがチェロです。今回は、チェロという楽器のことや、チェロメンパー九人のことをご紹介して、みなさまにも、チェロのことがもっと好きになってもらいたいと思います。MC担当は左合です。



指揮者のすぐ右で、指揮者やバイオリンのコンサートマスターをじっと見つめ、全身の動きで後ろの「こやうつて弾こう」ということを伝えているのが、チェロトップ早川さんです。この席に早川さんが座っているのは、なんと、四十年前も前から。長く事務局のお仕事もされ、県内外の芸術団体との窓口となり、まさに「岐響の顔」ともいえる方です。今年の二月に「道三のみた夢（岐阜市芸術文化協会三十周年記念）朗読音楽舞踊劇」という、語りに、舞踊に、邦楽に、オーケストラというジャンルを超えた様々な団体と調整をして公演にこぎつけられたのも早川さんの笑顔と人間関係の賜物ですね。  
チェロパートは、三十代一人、四十代三人、五十代三人、六十代二人です。ステージのマスク姿では、年齢は分からないと思いますけどね。若いお仲間も募集中です。お気軽に練習場に見学してください。

ここからは、チェロオンライン会議からの情報です。コロナ対策中は、「休憩時間もおしゃべり厳禁、ランチはできれば各自車内」なのです。

### 1 チェロの魅力

◆岐響チェロパートからのお薦め曲。  
♪チェロコンチェルト  
なんといつても、本日演奏のドボルザーク作曲の作品は、弾いていても幸せです。カンタさんのソロと共演できるなんて一生の思い出です。  
エルガー作曲、サンサーンス作曲のチェロコンチェルトもお薦め。  
♪パツハ 無伴奏組曲  
♪パツハ シャコンヌ(十二人版)  
♪ベートーベン チェロソナタ3番  
◆では、テレビ番組やCM、映画で一気にならぬ人気の高まった場面や曲を思い出してみよう。  
♪リベルタンゴ(ウィスキーのCM ヨーヨーマさん出演) 今年にはピアノの生誕百年でよく演奏されています。チェロの魅力が詰まっていますね。  
♪世界の車窓より(長寿番組主題歌 溝口肇さん演奏) ライブでの暗闇の演奏も素晴らしいです。

♪PEACE(たばこのCM 溝口肇さん煙とともに演奏出演) かつこよい姿を動画サイトで共有し、懐かしさにオンライン会議も盛り上がりました。今では見られない映像ですね。  
♪おくりびと(映画「おくりびと」作曲 久石譲) 公式パンフレットより作曲者の言葉「チェロは人間の肉声に近く、低い音から高い音まで広い音域が奏でられる素晴らしい楽器です。バイオリンなら普通に出せる高い音域をチェロが弾くと悲鳴のように聴こえるんです。音に力が込められ、独特のニュアンスが生まれてくる。」CDは、古川展生さんをソロとして十二人の豪華チェリストの共演です。本木雅弘さんの美しい演奏姿が印象的で、この映画を見て、チェロを始められた男性も多いとか。

◆チェロの出でたドラマといえは、「101回目のプロポーズ」浅野温子さんがかつこよくチェロをかついで歩いていました。  
「ハルモニア」も人気でした。このドラマで、チェロを弾いている時の「手」で出演していたチェリストに、チェロを習ったメンバーが岐響にいます。

### 2 チェリストの日常

今回は、知られざるチェリストの日常生活の中で、「車」「居場所」を。  
◆チェリストは車をどう選ぶ?  
「チェロが乗せられるか必ず確認。」  
「乗せやすいかも大切。最近の軽自動車は車高も高く、車内も広いので、安心。リヤのスライドドアは、ドアを開けるスペースを考えなくてよいので助かります。車を買換えるときは、必ずチェロのケースを持って行って、確かめます。」

「弦楽器やる人は黒い車は止めな、といわれていますが(車内温度上昇のため)そこは頑固に黒の車に乗っています。特に夏は楽器にゴメンネといながら、走り回っています。若い頃は助手席がチェロの指定席でしたが、最近は荷物も増えたので、後部座席全部がチェロの指定席に。」  
「以前は、家族三人とチェロ1台乗せられる軽自動車に、今は、母の家庭菜園に荷物が乗せられることを基準に選択しています。」

「自分とチェロだけ乗れるIQ。」  
家族も団員のメンバーは、チェロ&バイオリン、チェロ&トロンボーンと二台を工夫して載せています。「オードリー・ヘップバーンが音大生を演じた『昼下がりの情事』で、

屋根が開く小さい車から、チェロケースの頭だけひよっこり出して走っている場面を素敵に感じ、とても小さな(屋根が開く)車に乗っています。まだ、やってみたことはいけません。ぜひ実演して見せてほしいですね。  
◆では、家でのチェロはどこに?

「上向きに寝ています。」  
「横にする場所を取るので立つてます。窓際の電子ピアノと壁際の本棚にチェロの胴体をきっちり挟み、窓のカーテンを止める金具にベルトを掛けチェロのネック部分に回し倒れないようにしています。」  
「以前は立てて壁にもたれかけるようにしていましたが、今は横向きに寝そべています。」

「昔は立てていました。が、阪神淡路大震災のとき、岐阜でも結構揺れ、『チェロ大丈夫か!』と。それからは横に倒して置いています。」  
「リフォームのとき、まず、チェロ様の居場所を確保。サイズを測って扉付きの立て収納を注文しました。」

### 3 チェリストの事件簿

いろいろな災難に会っています。「車に載せるとき、風でハードケー

スごと倒れて、ネックが折れて大ショック。修理できて、ほっ。」

「ネック折れ二回、駒割一回、板はがれは、何回も。」  
「いつも通り、背負って歩いていたら、金具からベルトが外れ、ゴロンと落ちました。幸い、楽器は無事。」  
「チェロを担いでマンションの外階段の上に立ったとき、ケースの革のベルトが切れ、階段の踊り場へ凄い音と共に落ちました。指板が剥がれ、弦が切れ、ケースにひびが入りましたが、楽器は割れなかった。」  
チェリストに事件は多すぎて、ここからはタイトルだけ並べます。  
★弓だけ、演奏会場に置き忘れ  
★弓をドアに挟んで破損  
★演奏会後の打ち上げ会場にチェロを置き忘れ

★わけありで楽譜間違えステージに。後ろの人から楽譜を拝借したから、さあ困った、後ろの奏者:★チェロを乗せても、鞆は置き忘れ、練習場で鞆が車にひかれる

### 4 思い出のアルバム

古川町のご支援を受け、毎年オケ全体で合宿をさせてもらっていた時代がありました。世界的な指揮者、小泉和裕先生とのお仲間、チェロ



▲2001年小泉和裕先生、田中雅弘先生と



▲2005年 第1回チェロコンサート



▲よく弾き、よく食べ、よく飲んだ合宿練習



▲2011年 第2回岐響チェリストによるアンサンブルコンサート

今までも、そしてこれからもいろんなことが起きると思いますが、「やっぱり私たちはチェロが好き!」演奏を通して感じていただけると幸いです。